

令和7年度「地域学校協働本部事業」 放課後子ども教室の取組事例

「ひろの元気教室」(福島県広野町)

取組の概要や経緯

当教室は、震災以降に運行されているスクールバスの待ち時間を利用して、学習や体験活動を行ってほしいという学校からの要請を受け、平成26年度から開設している。地域住民との交流、体験活動を通して、子どもたちの社交性・自主性・創造性を育むことを目的とする。



内容

○広野小学校において、小学4年生から6年生を対象に火曜日～水曜日の授業終了後から15時55分まで体験活動、自由活動、スポーツ教室等を実施。

火曜日 体験活動や自由活動等(折り紙、切り絵、クラフト、ボードゲーム、バスケットボール等)
水曜日 スポーツ教室(サッカー、バドミントン、なわとび、体カづくりトレーニング等)



ポイント

- 地域で文化芸術等の分野で活動している指導者を講師に迎えて、各分野での体験活動やスポーツ教室等を実施し地域の人材発掘と交流を実施した。
- 自主性の育成と安全確認のために、活動ノートの記入、終礼等を行ってからの下校とする。
- 月末に翌月のスケジュールを児童及び保護者に郵送し、体験活動のねらいと内容、準備物等を周知する。

成果

- 週1回程度スポーツ教室を取り入れることで、児童の運動不足解消と運動への苦手意識を減らすことができた。
- 学校の授業では学ばない地元の文化・専門分野などを、地域住民からの体験活動をとおして学ぶことができ、地域への愛着や興味を深め、魅力の発見や交流につながった。
- 1学期～2学期:「児童・保護者満足度90%以上にする」という目標を達成することができた。

今後の方向性

○当教室開設当時からの環境が変化したことで、来年度からの開催時間の見直しが決定。体験活動日は6時間目終了後～16時30までに延長する。開催時間について、参加児童・保護者の反応をみながら柔軟に対応していく。

○地域の芸術・文化団体、スポーツ分野の指導者や、歴史や地理等に詳しい地域住民への参加協力を呼びかけ、子どもたちの地域との繋がりをより広げたい。